

(様式A1)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）
申請の概要

1. 申請取組 **※斜体は印刷不要です。申請時には削除してください。**
また、申請書の作成に当たって、本様式に示される表の行の高さは記述量に応じて適宜変更することができますが、極力、列の幅の変更はしないでください。

プログラムの名称	※申請する取組の名称を記載してください。女性研究者の活躍促進に係る目標を示す提案のタイトルを記載してください。
申請機関名 総括責任者名	※機関の長（学長、理事長、機構長等）が、総括責任者として申請を行ってください。
共同実施機関	※共同申請の場合は、共同実施機関名を記載してください。
実施予定期間	令和5年度～令和10年度 ※初年度は、取組の選定以降の実施となります。
実施予定所要見込額	【所要見込額】 令和5年度：総額：○百万円（うち自己負担額 ○百万円） 令和6年度：総額：○百万円（うち自己負担額 ○百万円） 令和7年度：総額：○百万円（うち自己負担額 ○百万円） 令和8年度：総額：○百万円（うち自己負担額 ○百万円） 令和9年度：総額：○百万円（うち自己負担額 ○百万円） 令和10年度：総額：○百万円（自己負担額） 総 額： ○百万円（うち自己負担額 ○百万円） ※様式A4から転記してください。
目標・行動計画の設定	女性研究者等の活躍促進及び上位職登用の推進に向けた目標・行動計画について記入してください。（女性研究者のみならず若手研究者の育成・確保に係る総合的なキャリアマネジメントに向けた目標についても記入してください。） 当該目標・行動計画が、①国立大学法人、大学共同利用機関法人及び独立行政法人における中期目標・中期計画、また、②女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定している機関（上記法人を含む。）における当該事業主行動計画、③申請機関における機関として策定・公表している中長期的な戦略のそれぞれに関連していることを明記してください。 ※関連する目標や計画の該当部分を抜粋した上で、本申請書の参考資料として添付してください。

(申請機関名：)

<p>取組の概要 (400字以内)</p>	<p>女性研究者等の活躍促進及び上位職登用の推進に向けて、どのような取組を実施するのかについて記入してください。</p> <p>※様式A2の2の記述内容との整合性を確保してください。</p> <p>※過去に「女性研究者支援モデル育成」、「女性研究者研究活動支援事業」、「女性研究者養成システム改革加速」、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」のいずれかの事業に選定された機関については、その実績を踏まえつつ、更に発展的にどのような取組を行うのか、記載してください。</p> <p>※第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）や第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日閣議決定）において、女性研究者の採用等に係る目標が定められていることを踏まえ、これらの目標の達成に寄与すると期待できる取組について、特に重点的に記載してください。</p>
---------------------------	--

(申請機関名：)

2. 総括責任者

総括責任者	ふりがな 氏名			
	研究者番号			
	所属機関名			
	役職名			
当該取組における機関全体の実施責任者	ふりがな 氏名			
	研究者番号			
	役職名			
当該取組における機関全体の事務連絡担当者 <small>(当該担当者に審査結果等すべての連絡をいたします)</small>	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事務連絡先 <small>(当該担当者に審査結果等すべての連絡をいたします)</small>	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
		E-mail:		
機関における経理管理責任者	ふりがな 責任者名		役職名	
	所属組織・部署名			
当該取組における機関全体の経理管理担当者	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事務連絡先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
	E-mail:			

※共同申請の場合は、機関ごとに作成してください。

(申請機関名 :)

(様式A2)

取組内容・詳細

○申請機関名 「
○プログラム名 「
(実施予定期間： 令和5年度～令和10年度)

以下の項目ごとに整理して記述してください。なお、枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記述してください。

1. 実施体制

(記述内容)

※実施機関における特別の支援組織の体制と当該組織の機関内の位置付けがわかる図も添付してください。その際、意思決定プロセスやマネジメント構造や既存組織との関係がわかるようなものとしてください。

2. 目標・行動計画及びそれらに基づく取組の内容

(記述内容)

(1) 目標の内容

※教授・准教授等の上位職への女性研究者の登用を推進するための、挑戦的・野心的数値目標の前提となる現状分析と、上位職登用の推進のみならず、女性研究者の活躍促進及び若手研究者の育成・確保に係る総合的なキャリアマネジメントに向け、機関が組織として設定した目標について、それぞれ具体的に記載してください。部局あるいは分野ごとの目標値も定めている場合は、記載してください。

※過去に「女性研究者支援モデル育成」、「女性研究者研究活動支援事業」、「女性研究者養成システム改革加速」、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」のいずれかの事業に選定された機関については、その実績を踏まえつつ、更に発展的にどのような取組を行うのか、記載してください。

※第6期科学技術・イノベーション基本計画（令和3年3月26日閣議決定）や第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日閣議決定）において、女性教員の上位職登用や女性研究者の採用、若手研究者の数や割合等に係る目標が定められていることを踏まえ、これらの目標の達成に寄与すると期待できる取組について、特に重点的に記載してください。

※各機関における当該目標の達成を可能とする根拠（バックデータ等）も記載してください。

(2) 上記目標を達成するための行動計画の内容

※行動計画に定められた取組の内容を具体的に記載してください。また、それが達成

(申請機関名：)

可能なものであるかについてもそれぞれ記載してください。

(3) 具体的な取組の内容

・ダイバーシティ研究環境整備のための取組

※当該取組について（共同申請であれば機関ごとに）記載してください。特に、実施する取組により、女性研究者の採用、上位職登用、研究と家庭との両立、又は、研究中断又は離職からの復帰・復職など、どのような効果が期待されるか分かるように記載してください。

・女性研究者の研究力向上のための取組とそれを通じたリーダー育成のための取組

※当該取組について共同申請であれば機関ごとに記載してください。

・女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組

※共同申請であれば機関ごとに記載してください。教授・准教授等の上位職への女性研究者の登用を推進するために掲げた挑戦的・野心的な数値目標を達成させるために、どのような取組を実施し、どのような効果が期待されるのかを具体的に記載してください。

3. 実施期間終了後の取組

※科学技術人材育成費補助金による支援終了後、女性研究者の研究活動の支援体制をどのようにして維持、発展させようとするのかについて記述してください。

4. 女性研究者の研究活動支援に関する過去の取組状況

5. 関連する取組状況

※「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づき各機関で事業主行動計画を策定している場合、事業主行動計画で定める計画と本事業の目標・計画等との関連性、事業主行動計画を踏まえた、本事業における取組等について記入してください。その場合、事業主行動計画を参考資料として添付してください。（事業主行動計画が A4 用紙で複数ページになる場合は、1 ページに要約して添付してください。）このほか、女性研究者支援に資する特筆すべき目標や取組があれば記述してください。

※厚生労働省等の補助金により女性研究者支援に取り組んでいるものがあれば補助金名と取組概要を記述してください。

6. 在籍する教員・研究員の総数（令和4年5月1日現在）。

※（ ）に内数として女性の人数を記入。

※「教授相当」、「准教授相当」、「講師相当」、「助教相当」については、平成28年度学校教員統計調査（文部科学省）における本務教員の定義を基準とします。また、「研究員」は上記本務教員の定義に含まれる「学長（校長）、副学長、教授、准教授、講

（申請機関名： ）

師、助教、助手」以外の役職で雇用されている研究者（ポストドクター等）としま
す。

	人文	社会	理学	工学	農学	医学	歯学	薬学
教授相当	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人
准教授相当	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人
講師相当	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人
助教相当	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人
研究員	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人

	保健 (※)	商船	家政	教育	芸術	その他
教授相当	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人
准教授相当	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人
講師相当	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人
助教相当	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人
研究員	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人	○人 ()人

※医学、歯学、薬学を除いたもの（看護学等）

※共同申請の場合、それぞれの機関について個別に作成してください。

(申請機関名：)

(様式A3)

年次計画概要

○申請機関名 「
 ○プログラム名 「
 (実施予定期間： 令和5年度～令和10年度)

取組内容	1年度目	2年度目	3年度目	4年度目	5年度目	6年度目
(例) ○ダイバーシティ研究環境整備のための取組 ○女性研究者の研究力向上のための取組 ○女性研究者の上位職への積極登用に向けた取組						
<p>※いつ、どのような取組を実施するのかを記載してください。 ※本様式に掲げる目標・計画についても、以下の計画等と関連していることを要件とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国立大学法人、大学共同利用機関法人及び独立行政法人については、当該法人の中期目標・中期計画 ・ 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を策定している機関(上記法人を含む。)については、当該計画 ・ その他機関における中長期的な戦略(機関として策定・公表しているもの) 						
研究者採用者数 研究者在職者数 ※男女の合計数とする。	○人(うち、教員○人) ○人(うち、教員○人)	○人(うち、教員○人) ○人(うち、教員○人)	<p>※研究者数について、6.に記載した「教授相当」、「准教授相当」、「講師相当」、「助教相当」及び「研究員」について記載し、内数として教員(「教授相当」、「准教授相当」、「講師相当」、「助教相当」)の数を記載してください。</p>			
女性研究者採用比率	○% (教授相当○%、准教授・講師相当○%、助教相当○%、研究員○%)	○% (教授相当○%、准教授・講師相当○%、助教相当○%、研究員○%)	<p>※第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定)や第5次男女共同参画基本計画(令和2年12月25日閣議決定)を踏まえ、分野ごとの採用比率の目標を定めている場合は、別紙(様式自由)に記載し、添付してください。</p>			
女性研究者在職比率	○% (教授相当○%、准教授・講師相当○%、助教相当○%、研究員○%)	○% (教授相当○%、准教授・講師相当○%、助教相当○%、研究員○%)	○% (教授相当○%、准教授・講師相当○%、助教相当○%、研究員○%)	○% (教授相当○%、准教授・講師相当○%、助教相当○%、研究員○%)	○% (教授相当○%、准教授・講師相当○%、助教相当○%、研究員○%)	○% (教授相当○%、准教授・講師相当○%、助教相当○%、研究員○%)
役員等の状況 ※部局長相当とは、学部長・研究科長相当職とする。	学長相当○人 (うち女性○人) 副学長・理事相当○人 (うち女性○人) 部局長相当○人 (うち女性○人)	学長相当○人 (うち女性○人) 副学長・理事相当○人 (うち女性○人) 部局長相当○人 (うち女性○人)	学長相当○人 (うち女性○人) 副学長・理事相当○人 (うち女性○人) 部局長相当○人 (うち女性○人)	学長相当○人 (うち女性○人) 副学長・理事相当○人 (うち女性○人) 部局長相当○人 (うち女性○人)	学長相当○人 (うち女性○人) 副学長・理事相当○人 (うち女性○人) 部局長相当○人 (うち女性○人)	学長相当○人 (うち女性○人) 副学長・理事相当○人 (うち女性○人) 部局長相当○人 (うち女性○人)

※下欄の採用者数、在籍者数、各比率については、共同申請の場合は機関ごとに欄を追加し、記入してください。

(申請機関名：)

(様式A4)

所要経費の見込額

○申請機関名 「
○プログラム名 「
(実施予定期間： 令和5年度～令和10年度)

1. 所要見込額

単位：
(円)

年 度	令和5年度 (1年度目)	令和6年度 (2年度目)	令和7年度 (3年度目)	合計金額 (1～3年度目)
所要見込額				
補助金額				
自己負担額				
設備備品費				
補助金額				
自己負担額				
人件費				
補助金額				
自己負担額				
事業実施費				
補助金額				
自己負担額				
年 度	令和8年度 (4年度目)	令和9年度 (5年度目)	令和10年度 (6年度目)	合計金額 (4～6年度目)
所要見込額				
補助金額			-	
自己負担額				
設備備品費				
補助金額			-	
自己負担額				
人件費				
補助金額			-	
自己負担額				
事業実施額				
補助金額			-	
自己負担額				

注) 上記記載の金額は、あくまで計画であり、毎年度交付される補助金額を担保するものではありません。また、令和6年度以降の補助金については、財政事情等により減額する場合があります。

(申請機関名：)

2. 令和5年度所要額の内訳

機関名：

所要見込額		所要見込額の内訳	
		補助金額	自己負担額
A (円)		B (円)	A - B (円)
経費の内容	金額 (円)	積算内訳 (円)	
設備備品費		※ 記入例 【支援室経費分】 書庫 一式 〇〇円 ※設備備品(資産)の定義は、機関の規程等によるものとします。 ※不動産及び不動産附帯設備の購入はできません(定義は機関の規程等によるものとします)。	
人件費		※ 記入例 【支援室経費分】 ・コーディネーター等雇用 〇人×〇円×〇月=〇円 【活動支援経費分】 ・研究支援者雇用 〇人×〇円×〇時=〇円	
事業実施費 (消耗品費) (国内旅費) (外国旅費) (外国人等招へい旅費) (諸謝金) (会議開催費) (通信運搬費) (印刷製本費) (借損料) (雑役務費) (委託費) (光熱水費) (研究専念支援経費)		※ 記入例 【支援室経費分】 〈消耗品〉消耗品一式 〇円 〈通信運搬費〉インターネット利用料 〇ヶ月×〇円 〈借損料〉コンピュータ借料 〇円×〇台=〇円 〈雑役務費〉HP維持管理一式 〇円 ※ (うち自己負担額 〇円) 〈光熱水費〉電気料金 〇ヶ月×〇円=〇円 ※本事業に関係しない光熱水費については、補助金で支払うことができないので、算出根拠を明確にしておいてください。 【活動支援経費分】 〈消耗品〉消耗品一式 〇円 〈国内旅費〉シンポジウム参加 〇人×〇円(〇〇県)=〇円 〈外国旅費〉〇人×〇円(〇〇国)=〇円 〈外国人等招へい旅費〉〇人×〇円(〇〇国)=〇円 〈諸謝金〉意識啓発研修会講師 〇人×〇円=〇円 〈会議開催費〉飲食物等 〇人×〇円=〇円 ※会議で供給する飲食物等は、各機関の規程等に従い必要最低限のものとなります。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。 〈印刷製本費〉意識啓発研修会配付資料 〇円×〇〇部=〇円 〈借損料〉複写機借料 〇円×〇月=〇円	
合計金額	A	(※うち自己負担額の合計 〇円)	

注1) 自己負担額がある場合には、「積算内訳」の該当する経費の横に※印を付し、自己負担額を()書きしてください。

2) 所要経費について、公募要領の別表を参考にして経費別に見込額を記入してください。

3) 補助金を除く申請内容の実施に必要な経費は、審査の対象となります。

(申請機関名：)

(様式B1)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (調査分析)

申請の概要

1. 申請取組 **※斜体は印刷不要です。申請時には削除してください。**
また、申請書の作成に当たって、本様式に示される表の行の高さは記述量に応じて適宜変更することができますが、極力、列の幅の変更はしないでください。

プログラムの名称	※申請する取組の名称を記載してください。
申請機関名 総括責任者名	※機関の長 (学長、理事長、機構長等) が、総括責任者として申請を行ってください。
共同実施機関名	
実施予定期間	令和5年度～令和6年度 ※初年度は、取組の選定以降の実施となります。
実施予定所要見込額	【所要見込額】 令和5年度：総額：○百万円 (うち自己負担額 ○百万円) 令和6年度：総額：○百万円 (うち自己負担額 ○百万円) 総 額：○百万円 (うち自己負担額 ○百万円) ※様式B4から転記してください。
取組の概要 (400字以内)	女性研究者等の活躍促進に資する知見を得るために、どのような調査分析を実施するのかについて、目的、調査内容、方法等を記入してください。 ※様式B2の2の記述内容との整合性を確保してください。 ※過去に代表機関及び共同実施機関で「女性研究者支援モデル育成」、「女性研究者研究活動支援事業」、「女性研究者養成システム改革加速」「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」のいずれかの事業に選定された機関については、当該事業を通じて蓄積された知見をどのように踏まえて各機関における知見の蓄積をどのように活かし発展的な調査分析を行うのか、記載してください。 ※第6期科学技術・イノベーション基本計画 (令和3年3月26日閣議決定) や第5次男女共同参画基本計画 (令和2年12月25日閣議決定) において、女性研究者の採用等に係る目標が定められていることを踏まえ、これらの目標の達成に向けた取組に資する調査分析等の内容について、特に重点的に記載してください。
期待される成果	女性研究者等の活躍促進に資する調査分析等に関して期待される成果について記入してください。

(申請機関名：)

2. 総括責任者

総括責任者	ふりがな 氏名			
	研究者番号			
	所属機関名			
	役職名			
当該取組における機関全体の実施責任者	ふりがな 氏名			
	研究者番号			
	役職名			
当該取組における機関全体の事務連絡担当者 <small>(当該担当者に審査結果等すべての連絡をいたします)</small>	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事務連絡先 <small>(当該担当者に審査結果等すべての連絡をいたします)</small>	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
		E-mail:		
機関における経理管理責任者	ふりがな 責任者名		役職名	
	所属組織・部署名			
当該取組における機関全体の経理管理担当者	ふりがな 担当者名		役職名	
	所属組織・部署名			
	事務連絡先	〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇県 〇市〇〇町〇〇-〇〇〇-〇		
		TEL.	FAX.	
	E-mail:			

※代表機関、共同実施機関それぞれについて作成してください。

(申請機関名：)

(様式B2)

取組内容・詳細

○申請機関名 「
○プログラム名 「
(実施予定期間： 令和5年度～令和6年度)

以下の項目ごとに整理して記述してください。なお、枚数制限は設けませんが、簡潔かつ明瞭に記述してください。

1. 実施体制

(記述内容)

※実施機関における調査分析を行う組織の体制と当該組織の機関内の位置付けがわかる図も添付してください。その際、意思決定プロセスやマネジメント構造や既存組織との関係がわかるようなものとしてください。

※当該組織の体制が本調査分析等を行うにあたって妥当であることがわかるよう、体制やその能力等について説明してください。

2. 取組の内容

(記述内容)

(1) 代表機関及び共同実施機関による調査分析等の内容

※調査分析等の前提となる現状分析と、女性研究者の活躍促進に資する調査分析を行うに当たり、代表機関及び共同実施機関が組織として設定した調査分析の内容(調査分析の目的、調査事項、調査方法、分析方法、行程)について、それぞれ具体的に記載してください。

※当該取組について、連携して行う取組に加え、代表機関及び共同実施機関ごとに実施する取組に関して、各機関の特色を踏まえて、機関ごとに記載してください。

※過去に「女性研究者支援モデル育成」、「女性研究者研究活動支援事業」、「女性研究者養成システム改革加速」、「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」のいずれかの事業に選定された機関については、当該事業を通じて蓄積された知見をどのように踏まえて調査分析を行うのか、記載してください。

※第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定)や第5次男女共同参画基本計画(令和2年12月25日閣議決定)において、女性研究者の採用、若手研究者の数や割合等に係る目標が定められていることを踏まえ、これらの目標の達成に向けた取組に資する調査分析等の内容について、特に重点的に記載してください。

(申請機関名：)

- ・海外の大学・研究機関等における女性研究者の活躍促進に向けた取組に関する調査・分析

(2) 上記取組により期待される成果

※実施する取組により、女性研究者の活躍促進（女性研究者の採用、上位職登用、女性研究リーダー育成、女性研究者の次世代育成等）や、そのための制度設計及び研究環境整備（女性研究者及び研究リーダーの活躍促進に関する指標の設定、当該指標の導入、女性研究者支援プログラムの普及促進等）について、どのような成果が期待されるか記載してください。

※その際、調査分析の結果として得ることができる知見と、当該知見の活用方策、女性活躍の促進及びその環境整備にどのように貢献するのか、ということがわかるように記載してください。

※各機関において、当該成果を得ることを可能する工夫や仕組み、根拠等も記載してください。

3. 女性研究者の研究活動支援に関する過去の取組状況

※女性研究者の活躍促進に関する調査研究等や各種補助金による取組等も含め、代表機関及び共同実施機関における女性研究者の研究活動支援に資する過去の取組について記載してください。

(申請機関名：)

(様式B3)

年次計画概要

○申請機関名 「 」
○プログラム名 「 」
(実施予定期間： 令和5年度～令和6年度)

取組内容	1年度目	2年度目
<p>(例)</p> <p>○大学・研究機関等における女性研究者の活躍促進の取組に関する調査分析</p>	<p>※いつ、どのような取組を実施するのかを記載してください。</p>	

※代表機関及び共同実施機関の合計及び各機関それぞれについて、欄を追加し、記入してください。

(申請機関名：)

(様式B 4)

所要経費の見込額

○申請機関名 「 」

○プログラム名 「 」

(実施予定期間： 令和5年度～令和6年度)

1. 所要見込額 (代表機関、共同実施機関の合計額を記入) 単位：(円)

年 度	令和5年度 (1年度目)	令和6年度 (2年度目)	合計金額 (1～2年度目)
所要見込額			
補助金額			
自己負担額			
設備備品費			
補助金額			
自己負担額			
人件費			
補助金額			
自己負担額			
事業実施費			
補助金額			
自己負担額			

注) 上記記載の金額は、あくまで計画であり、毎年度交付される補助金額を担保するものではありません。また、令和6年度の補助金については、財政事情等により減額する場合があります。

(申請機関名：)

2. 令和5年度所要額の内訳（代表機関、共同実施機関それぞれについて作成してください。）

機関名： _____

所要見込額		所要見込額の内訳	
		補助金額	自己負担額
A	(円)	B	(円)
		A - B (円)	
経費の内容	金額 (円)	積算内訳 (円)	
設備備品費		※ 記入例 【調査分析実施体制整備経費分】 書庫 一式 〇〇円 ※設備備品（資産）の定義は、機関の規程等によるものとします。 ※不動産及び不動産附帯設備の購入はできません（定義は機関の規程等によるものとします）。	
人件費		※ 記入例 【調査分析実施体制整備経費分】 ・マネージャー等雇用 〇人×〇円×〇月=〇円 【活動支援経費分】 ・調査分析担当職員雇用 〇人×〇円×〇時=〇円	
事業実施費 (消耗品費) (国内旅費) (外国旅費) (外国人等 招へい旅費) (諸謝金) (会議開催費) (通信運搬費) (印刷製本費) (借損料) (雑役務費) (委託費) (光熱水費)		※ 記入例 【調査分析実施体制整備経費分】 ※事務局の維持に係る最低限の経費とします。 〈消耗品〉 消耗品一式 〇円 〈通信運搬費〉 インターネット利用料 〇ヶ月×〇円 〈借損料〉 コンピュータ借料 〇円×〇台=〇円 〈雑役務費〉 HP維持管理一式 〇円 ※ (うち自己負担額 〇円) 〈光熱水費〉 電気料金 〇ヶ月×〇円=〇円 ※本事業に関係しない光熱水費については、補助金で支払うことができないので、算出根拠を明確にしておいてください。 【調査分析経費分】 〈消耗品〉 消耗品一式 〇円 〈国内旅費〉 シンポジウム参加 〇人×〇円 (〇〇県) =〇円 〈外国旅費〉 インタビュー調査 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈外国人等招へい旅費〉 〇人×〇円 (〇〇国) =〇円 〈諸謝金〉 シンポジウム講師 〇人×〇円=〇円 〈会議開催費〉 飲食物等 〇人×〇円=〇円 ※会議で供給する飲食物等は、各機関の規程等に従い必要最低限のものとする。ただし、アルコール類については、補助金からは支出できません。 〈印刷製本費〉 報告書 〇円×〇〇部=〇円 〈借損料〉 複写機借料 〇円×〇月=〇円	
合計金額	A	(※うち自己負担額の合計 〇円)	

注1) 自己負担額がある場合には、「積算内訳」の該当する経費の横に※印を付し、自己負担額を () 書きしてください。

2) 所要経費について、公募要領の別表を参考にして経費別に見込額を記入してください。

3) 補助金を除く申請内容の実施に必要な経費は、審査の対象となります。

(申請機関名： _____)

(様式A5)

令和5年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」申請機関における女性研究者の採用・登用目標について〈女性リーダー育成型〉

【機関名】〇〇大学

<全体>

○在職計画

	対象者	現状(R4. 5. 1)			目標(R10年度)			中期計画	行動計画	その他戦略	備考
		総数	うち女性	女性比率	総数	うち女性	女性比率				
	全体			0.0%			0.0%				
	うち自然科学系			0.0%			0.0%				

○採用計画

	対象者	現状(R4年度)			目標(R5~R10年度)			目標(R10年度)			中期計画	行動計画	その他戦略	備考
		採用数	うち女性	女性比率	採用総数	うち女性	女性比率	採用数	うち女性	女性比率				
	全体			0.0%			0.0%			0.0%				
	うち自然科学系			0.0%			0.0%			0.0%				

<指導的地位(上位職)>

○在職計画

	対象者	現状(R4. 5. 1)			目標(R10年度)			中期計画	行動計画	その他戦略	備考
		総数	うち女性	女性比率	総数	うち女性	女性比率				
	全体			0.0%			0.0%				
	うち自然科学系			0.0%			0.0%				

○登用計画

	対象者	現状(R4年度)			目標(R5~R10年度)			目標(R10年度)			中期計画	行動計画	その他戦略	備考
		登用数	うち女性	女性比率	登用総数	うち女性	女性比率	登用数	うち女性	女性比率				
	全体			0.0%			0.0%			0.0%				

(様式A5)

うち自然科学系				0.0%			0.0%			0.0%			
---------	--	--	--	------	--	--	------	--	--	------	--	--	--

令和5年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」
様式A5記入要領

- 本様式は、令和5年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ」の審査に際して、各機関の女性研究者の採用・在職・登用等に関する目標に関するものを簡潔に参照できるようにするためのものです。
- このため、各申請機関は、実績に係る数値（現状）を適宜補いつつ、申請書様式A1～A4（女性リーダー育成型の場合）に記載する数値（目標）に基づき記入してください。

<記入方法>

【共通項目】

- 【機関名】欄には、申請機関名を記入してください。
- 女性リーダー育成型を申請する場合は様式A5を作成してください。なお、女性リーダー育成型について、共同申請の場合は各申請に係る代表機関及び全ての共同実施機関について、機関ごとに別様で作成してください。
- 各表の項目について、上段には対象者に係る機関全体に関する数値（現状、目標）、下段には内数として自然科学系（※）に関する数値（現状、目標）を記入してください。
なお、自然科学系に係る目標を定めていない場合、下段の「目標」欄には「－」を記入してください。当該場合であっても、下段の「現状」欄には、可能な限り数値（現状）を記入し、記入が困難な場合には、当該欄にも「－」を記入した上で、「備考」欄に記入が困難な理由を簡潔に記入してください。
※ 理学、工学、農学、保健（医学、歯学、薬学、その他）の専門分野を有する者に係るもの。
- 「中期計画」欄には、各表の該当する対象者の「目標」欄に記入した数値（目標）に関連して、
国立大学法人、大学共同利用機関法人、独立行政法人については、中期目標・中期計画における記載状況について、以下の凡例に沿って記入してください。
<凡例> ◎：数値目標を含めて、関連する取組内容等を記載している場合
○：数値目標を定めていないが、関連する取組内容等を記載している場合
×：関連する取組内容等を記載していない場合
－：中長期的な目標・計画自体を作成していない場合
- 「行動計画」欄には、各表の該当する対象者の「目標」欄に記入した数値（目標）に関連して、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく一般事業主行動計画における記載状況について、上記の凡例に準じて記入してください。
- 「その他戦略」欄には、各表に該当する対象者の「目標」欄に記入した数値（目標）に関連して、各申請機関（女性リーダー育成型の共同実施機関を含む。）における機関として策定・公表している中長期的な戦略における記載状況について、上記の凡例に準じて記入してください。
- 様式については、横のサイズや文字の大きさは変更せず、「備考」欄の記入量が多くなった場合などは、機関ごとに複数枚になっても構いませんので、「備考」欄を複数行にするなどしてください。

【<全体>】

- 「対象者」欄には、各計画の対象となる研究者の範囲を記入してください。
 - (1) 大学及び大学共同利用機関法人の場合
 - ・「教員」又は「教員及び研究員」のうち、いずれか近いものを記入してください。
 - ・ここでいう「教員」とは、平成28年度学校教員統計調査（文部科学省）における本務教員の定義を基準としますが、助手は除いてください。本務教員のほかに兼務教員などを含む場合、あるいは、本務教員の一部の者のみ（「学長を除く」など）を対象とする場合、「備考」欄に具体的な対象者を記入してください。
 - ・「研究員」とは、上記本務教員の定義に含まれる「学長（校長）、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手」以外の役職で雇用されている研究者（ポストドクター等）とします。「教員及び研究員」と記入する場合、「備考」欄に研究員に係る具体的な対象者を記入してください。
 - ・大学共同利用機関法人については、上記の定義等に準じて記入してください。
 - (2) (1) 以外の機関の場合
 - ・原則、「研究者」と記入してください。
 - ・ここでいう「研究者」とは、令和4年科学技術研究調査（総務省）における「研究者」の定義を基準とします。当該研究者以外の者を含む場合、あるいは、当該研究者の一部の者のみを対象とする場合、「備考」欄に具体的な対象者を記入してください。
- 「在職計画」には、対象者に係る「現状（令和4年5月1日現在）」、「目標（令和10年度時点）」について、総数及び内数としての女性数をそれぞれ記入してください。

なお、「目標」の人数は、申請書の様式A3に記載した数値に基づき記入してください。また、「現状」の人数は、原則として、申請書の様式A2の「6. 在籍する教員・研究員の総数」に記載した数値を集計したものを記入し、目標に係る対象者との関係で当該集計とは異なる数値となる場合、その旨を「備考」欄に注記した上で当該数値を記入してください。
- 「採用計画」には、対象者に係る「現状（令和4年度採用実績）」、「目標（令和5年度から令和10年度までの合計）」及び「目標（令和10年度採用計画（単年度）」について、総数及び内数としての女性数をそれぞれ記入してください。

なお、「目標」の人数は、申請書の様式A3に記載した数値を（適宜集計し）記入してください。また、「現状」の人数は、目標に係る対象者の採用実績を記入し、令和4年度に採用実績がない場合には、直近の採用実績を記入し、その年度を「備考」欄に注記してください。

【<指導的地位（上位職）>】

- 指導的地位（上位職）に占める女性研究者の割合に係る目標（数値）を設定している機関を記入対象とします。

なお、当該目標（数値）を設定していないが、関連する取組を実施している機関については、「目標」欄には「－」を記入（「現状」欄は適宜記入）した上で、「備考」欄に当該状況を記入してください。また、目標（数値）のみならず、関連する取組も実施していない機関は、未記入で構いません。
- 「対象者」欄には、学長相当（機関の長等）、副学長・理事相当（役員等）、部局長相当（学部長・研究科長相当職）、その他（大学の教授等）の役職のうち、当該機関の目標（数値）の対象となる指導的地位（上位職）の役職、範囲を簡潔に記入（「上位職」等）した上で、「備考」欄に具体的な対象者を記入してください。

- 複数の役職（役員、教授など）ごとに別々に目標（数値）を設定している場合、複数行に分けて記入してください。
- 「対象者」は、研究者（研究者の範囲は、上記の「<全体>」の記入方法と同様）に係るものとしませんが、例えば、職員を含めて、機関における管理職全体としての目標（数値）を設定している場合には、その旨を「備考」欄に記入してください。
- 「在職計画」には、対象者に係る「現状（令和4年5月1日現在）」、「目標（令和10年度末時点）」について、総数及び内数としての女性数をそれぞれ記入してください。
なお、「目標」の人数は、申請書の様式A2・A3に記載した数値に基づき記入してください。また、「現状」の人数は、原則として、申請書の様式A2に記載した数値に基づき記入してください。
- 「登用計画」には、対象者に係る「現状（令和4年度登用実績）」、「目標（令和5年度から令和10年度までの合計）」及び「目標（令和10年度登用計画（単年度）」について、総数及び内数としての女性数をそれぞれ記入してください。
なお、「目標」の人数は、申請書の様式A2・A3に記載した数値に基づき記入してください。また、「現状」の人数は、目標に係る対象者の登用実績を記入し、令和4年度に登用実績がない場合には、直近の登用実績を記入し、その年度を「備考」欄に注記してください。
- 「登用」には、機関内部からの登用のみならず、機関の外部からの登用を含みます。

（以 上）

(様式A6)

※申請の概要を示す図(ポンチ絵)を作成してください。

(申請機関名：)

(様式B5)

※申請の概要を示す図(ポンチ絵)を作成してください。

(申請機関名 :)

(様式A7)

※既存事業との重複申請を行う機関(自走期間を含む)のみ当該様式をご提出ください。

既存事業における取組内容、女性リーダー育成型で実施する取組内容の関係性やそれぞれの区分などについて、図解等を作成ください。

(申請機関名：)